



あけぼの診療所だより



| 今月の特集 |

在宅ハイフローセラピーが必要だから、 退院は難しいと決める前に。

—呼吸を支える治療を、患者さんの暮らしに合わせる—

自宅で酸素を使っている、息苦しさや痰が残る。

マスク式の呼吸補助は、圧迫感や不快感から続けにくい。

そのような患者さんに、鼻から温かく湿らせた空気や酸素を多く送る

在宅ハイフローセラピーを検討できる場合があります。

あけぼの診療所では、病気の状態だけでなく、

退院をあきらめていた
患者さんも一度
ご相談ください



✔ 患者さんがどのように過ごしたいか

✔ 機器を無理なく使い続けられるか

✔ 自宅のどこで食事・睡眠・移動をするか

を確認し、自宅で続けられる呼吸管理と一緒に組み立てます。

自宅で使える3つの呼吸サポート

01 自宅で酸素を 補う治療

酸素濃縮器や酸素ボンベで、体に不足している酸素を補います。

役割 足りない酸素を補う

02 在宅 ハイフローセラピー

温かく湿らせた空気や酸素を鼻から多く送り、呼吸と痰の管理を支えます。

役割 呼吸と痰の管理を支える

03 マスク・人工呼吸器で 呼吸を助ける治療

空気を肺へ送り込み、呼吸そのものを助けます。

役割 換気を補い、
呼吸そのものを助ける

病気の状態、採血結果、機器の使いやすさ、生活動線から選択・併用します。

在宅ハイフローセラピーで期待できること

痰と乾燥への配慮

温かく湿らせたガスにより、気道の乾燥を抑え、痰を出しやすくします。

会話や食事を妨げにくい

鼻にかける細いチューブのため、会話や食事をしやすい方がいます。

条件に合う患者さんでは、 症状悪化を減らす可能性

国内104例の試験で、中等度・重度の症状悪化が少ない結果が報告されています。

※効果や適応は病気の種類・状態により異なります。

中等度・重度の症状悪化：年間平均1.0回 対 2.5回
在宅ハイフローセラピー併用群 対 在宅酸素療法のみ群

こんな患者さんをご相談ください

- 自宅で酸素を使っている、息切れや痰の出しにくさが残る
- 慢性の呼吸不全で、症状悪化や入退院を繰り返している
- マスク式の呼吸補助を続けることが難しい
- 在宅ハイフローセラピーの導入・管理が、退院調整の課題になっている

退院日が決まっていなくても、
在宅ハイフローセラピーの導入可否が未定でも、
訪問診療の契約前でも、まずご相談ください。



地域連携室: **03-6457-7237**

訪問診療契約前でも、**即日初動・往診**を含めて対応します。

※緊急性、エリア、当日の診療状況により調整します。

1. 運用例

機器を患者さんの暮らしに合わせる。
患者さんを機器に合わせない。

慢性呼吸不全で在宅酸素療法を行っている患者さん。
主に過ごす場所では在宅ハイフローセラピーを行い、食事や自宅内の移動時には、持ち運びやすい酸素機器を使用する形にしました。

- どこで過ごすのか
- どの時間を大切にしたいのか
- どの機器なら無理なく続けられるのか

を確認し、生活に合わせて呼吸管理を組み立てています。

導入後も、血液中の酸素の値、息切れ、痰、使用時間、不快感の有無を確認し、必要に応じて設定や使い方を見直します。

※実際の診療をもとに、個人が特定されないよう背景を変更した運用例です。

2. 在宅ハイフローセラピーを始めるまで

1 | 退院前から相談

退院日や導入可否が未定でも構いません。

2 | 病気の状態と治療を確認

酸素の使用状況、血液中の酸素・二酸化炭素、入院歴、痰の状態などを確認します。

3 | 暮らしを確認

療養場所、移動、食事、睡眠、本人・家族が大切にしたい時間を確認します。

4 | 在宅体制を整える

病院、機器事業者、訪問看護、薬局、ケアマネジャーと連携し、設置・清掃・予備酸素・緊急時対応を決めます。

5 | 導入後も評価・再調整

症状、酸素の値、痰、使用時間、機器の使いやすさを継続して確認します。



3. 「ご相談時に」と助かる情報

1. 病名と最近の経過
2. 現在の酸素機器・流量・使用時間
3. 安静時・動作時の酸素の値、採血結果
4. 最近の症状悪化・入院、痰の状態
5. 本人・家族の希望、主な療養場所、支援体制

すべて揃ってなくても構いません。

分かる範囲で、まずご相談ください。

4. 安全上の注意

在宅ハイフローセラピーは、
すべての呼吸不全に適した治療ではありません。

急な状態悪化、意識の異常、強い呼吸困難がある場合は、救急搬送、入院、マスク式の呼吸補助、人工呼吸器による治療を優先することがあります。

病気の状態と治療目的を確認し、
患者さんごとに判断します。



呼吸を支える機器の管理が、
退院を止めている。
その段階で、まず地域連携室へ。

退院前・訪問診療契約前でも、導入可否と在宅管理の方法と一緒に検討します。

あけぼの診療所
地域連携室

03-6457-7237

LINE

下記3つのサービスが利用できます

紹介フォーム入力

紹介状アップロード

進捗確認可能



ファックスにて
下記のサービスがご利用できます

紹介状の送付

03-6457-7238

メールより
下記のサービスがご利用できます

一般的なお問合せ

こちらのお問い合わせフォームから
ご相談ください



定期的に医師がお伺いする総合在宅医療サービス

あけぼの診療所

患者様がご自宅で“自分らしく”療養できる環境を実現できるよう、医療のみならず生活面の課題やご家族の不安にも向き合い、総合的なサポートを行います。

院長 / 下山 祐人

内科 循環器内科 脳神経内科 消化器内科 呼吸器内科
腫瘍内科 血液内科 神経内科 脳神経外科 消化器外科
形成外科 心臓血管外科 皮膚科 精神科

対応する
診療内容

PEG 交換 / 在宅酸素 / 輸血 (赤血球・血小板) / 抗がん剤点滴 / 中心静脈栄養 (IVH) / 疼痛コントロール / 終末期ケア

ご相談・ご紹介はまずは
本院までご連絡ください

お問い合わせ・受付時間
(月～土 9:00～18:00)

TEL. 03-6457-7237

FAX. 03-6457-7238

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13番地4住友不動産四谷ビル5階



あけぼの診療所 あさくさ院

〒111-0033 台東区花川戸1-10-14CREAL 浅草スカイビュースクエア2階

TEL. 03-5830-6206 FAX. 03-6457-7238

訪問エリア

■ 即日対応エリア ■ 応相談エリア



詳細はこちらの
QR からご確認
いただけます。

訪問診療エリアは
半径 16km 圏内



事業拡大につき / スタッフ募集中！
お気軽にご相談ください

あけぼの診療所 新宿
www.akebonoclinic.net

検索